

産業厚生委員会委員長報告（決算認定）

1.委員会開催日	令和2年10月20日
2.付託件数	8件
3.審査経過	下表のとおり
4.結果	認定

認定第2号 令和元年度 室戸市国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算の認定について（直診勘定）

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
地域医療 対策課	1-1-1一般管理費	診療所の利用者数や交通手段について。	平成30年度と比較すると1日平均で昨年度は30名程度であったが、今年度については23名程度になっている。 地区別の利用者数は、地元室戸岬の方が7割弱で、次は室戸地区の方である。ほか吉良川、佐喜浜、羽根、市外の方はそれぞれ5%以下である。 患者は自家用車を利用する方が多く、ほかは自転車、徒歩で通院している。

認定第2号 令和元年度 室戸市国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算の認定について（事業勘定）

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	(歳入) 1-1国民健康保険税	国保税の口座引き落としについて。	令和元年の国保税口座振替の依頼件数は846件である。 国保人口が減少している関係で、口座振替の方がだんだん減少している。 今後広報等でも周知していく。
		国保加入者が200名減少しているが、今後も加入者が減っていく可能性がある。 今後に向け、どういうふうな対応ができるのか。	今後も国保人口が減る事が想定される。全体の医療費は下がってきているが1人あたりの医療費が上がっている。 国からは、一般会計からの繰入額等を縮小していくことを求められているため、今後は国保税を上げて行かざるを得ないと考えている。
	1-3-1-1運営協議会委員報酬	運営協議会費の運営協議会委員報酬について、協議会の委員数や会議を開催した回数について。	委員数は12名で、当初予算で3回分の予算を計上していたが、1回しか会議を開催できなかった。

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	(歳入) 5-1-1一般会計繰入金 (歳出) 3国民健康保険事業費納付金	今までは、一般会計から毎年4億円くらい繰り入れていたが、県一になり納付金はどうなったのか。	国民健康保険事業費納付金は、平成30年度は6億7,292万1,074円。令和元年度は6,400万円ほど増え7億3,727万4,099円になっている。これは過去の医療費を基準にして県が算定している。今後は全体の国保人口や医療費の総額も減ってくれば、この納付金もだんだん下がってくると考えている。少ない国保人口でどういうふうにかまかっていくのか今後の課題である。

認定第3号 令和元年度 室戸市介護認定審査会運営事業特別会計 歳入歳出決算の認定について

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	1-1-1-1介護認定審査会委員報酬	不用額41万5千円の内容は。	委員報酬が1回につき委員長が1万3千円。委員が1万2千円。全部で委員が10名おり、毎週木曜日に委員会を開催している。昨年度は委員会を49回開催した。そのうち数名の欠席者の報酬である。

認定第4号 令和元年度 室戸市介護保険事業特別会計 歳入歳出決算の認定について

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	2-5-1-19高額医療合算介護サービス費	高額医療合算介護サービス費の内容は。	高額医療合算介護サービス費については、介護及び医療の利用者負担を軽減する措置として年間の限度額が決められており、限度額を超えた分について、支払いをするという内容となっている。
	3-4-1-13地域包括支援センター運営事業委託料	委託先はどこになっているのか。	地域包括支援センターの運営は室戸市社会福祉協議会に委託しており、主に要支援1、2の方が包括支援センターの対象の事業となっている。
		不用額938万円の内容について。	退職や病休の職員がいたが、それに代わる職員の雇用ができなかったためである。
		包括支援センターに勤める方の資格についてはどうなっているのか。	基本的には、保健師または看護師、社会福祉士および主任介護支援専門員である。

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	(歳入) (歳出)	被保険者数が32名減っており、収支決算の歳入歳出差引額が約1,400万円減っているが、繰入金は約3,700万円増えている。これらの関係性について。また、基金の積み立て金も減っているが、これらについてはどのようなになっているのか。	被保険者数が32名減っているのは、人口が減っていることであると考えられる。最近では高齢者の人口はほぼ横ばい状態で推移している。 基金の積み立てが約2,600万円減っているのは、前年度の決算で積み立てたもので、基本的には入と出の差の分を基金に積み立てている。 一般会計からの繰り入れ金が増加しているのは、昨年度は低所得者の方に対する減免を行っており、市の持ち出しが若干増えているためである。
	3-3-1-13委託料	げんきクラブや介護予防教室の不用額と、日常生活圏域ニーズ調査委託料の内容について。	げんきクラブや介護予防教室の参加者が見込みより少なかったことで、不用額が生じた。 日常生活圏域ニーズ調査は、65歳以上の方で要介護認定を持っていない方約5,600名を対象にニーズ調査を行い、回収率が68パーセントとなっている。

認定第5号 令和元年度 室戸市海洋深層水給水事業特別会計 歳入歳出決算の認定について

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
産業振興課	1-1-1-13給水施設保守点検他委託料	給水施設保守点検他委託料2,163万518円の内容について。	保守点検は、夏と冬の年2回実施している。主にポンプの部品など消耗していたパーツの入れ替えである。他にも脱塩装置のフィルター交換や、その他電気設備、漏水の点検などを行っている。
	(歳入) 1-1-1-1海洋深層水使用料	今後、使用料を増やす取りくみは。	今年から専用管の使用料金の体系を見直した。基本料1,000トンまでに変わりが、基本料を超過した分について今までは1,000トン単位であったものを100トン単位とし、企業に使いやすいよう料金体系の変更を行った。 他に企業への働きかけということで、今年の深層水企業クラブ役員会へ市長が出向き、商品の開発等についてお願いしてきたところである。

認定第6号 令和元年度 室戸市障害支援区分認定審査会運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	1-1-1-1障害支援区分認定審査会委員報酬	障害支援区分認定審査会委員報酬について。	本審査会については、医師3名、理学療法士1名、社会福祉士1名の5名で構成され、月1回開催している。 また、報酬の金額は全員一律で1人1万3千円である。

認定第7号 令和元年度 室戸市後期高齢者医療事業特別会計 歳入歳出決算の認定について

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	(歳入) (歳出)	今後もこれらの後期高齢者の加入者が増えていく可能性がある中、今後の実質収支の見込みについて。	実質収支額は、増えた加入者と保険料との兼ね合いで変わってくる。また、医療費が増加してくることが考えられる。 広域連合と連携しながら、実質収支額を検討し、進めていきたいと考えている。

認定第8号 令和元年度 室戸市水道事業会計決算の認定について

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
水道局	(収益的収入) 1-1-1給水収益	給水人口の減少に伴う水道料金の将来見通しについて。	人口減少に伴い水道使用量も減ってきている。今後、急に人口が増える見込みもないため、経費の節減等を行い、粘り強く現状の水道料金を維持したいと考えている。
	(資本的収入) 1-1-1補助金	現在、簡易水道は全て上水道に統合され、補助金の対象であったものがなくなった。 今後の施設運営について、どのように考えるのか。	水道を毎日安心して使っていただくため、工務班の職員は、日々の変化も見逃さないようポンプ室等の点検に余念なく活動している。 また、県が補助金創設の方向で動いているため、それに向け要望を上げていきたいと考えている。
	(資本的支出) 1-2-1企業債元金償還金	人口減少に伴い水道料金も減少していく中で、老朽化した施設の更新を含めどういうふうな施設の維持管理をしていくのか。	老朽施設への対策、耐震構造の強化を行う上で一定建設改良には資金をさかざるを得ない状況は否めないが、できる限り均等に事業をやっていくように心がけている。

認定第9号 令和元年度 芸東衛生組合一般会計歳入歳出 決算の認定について

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	3-1-1し尿処理費	室戸清浄園の利用率と今後の改修等について。	令和元年度の室戸市と東洋町のし尿処理の割合は、室戸市が94.2%、東洋町が5.8%となっている。 今後の改修については10年間計画を立て、耐用年数が来る前のある程度修繕を行う計画である。